

# サンゴの移植

## — 移植片の準備・移植とモニタリング・MPA —

パネル・ポスターなどの展示 10:00～16:30  
(会議室・会場ロビー)

サンゴ礁保全やサンゴの移植活動に関連した取り組みなど、パネルやポスター・パンフレット・標本などの展示も可能です。展示やパンフレットなどの配布をご希望の方は、開始前に各自ご準備頂き、活動の紹介や宣伝あるいは情報交換・国際交流にご活用下さい。

日時：2010年12月10日（金）  
10:00～16:00

会場：海洋博覧会記念公園管理財団  
総合研究センター視聴覚室

参加費：無料

**要 事前申し込み：定員約70名**



(バリ セランガン島・前森 様)



(沖縄島)

コーディネーター：西平守孝（海洋博研究センター）

基調講演：（60分）

- ① Rahmadi Prasetyo (Bangun Citra Pesisir Co. Ltd. 沿岸開発企画コンサルタント)：インドネシアにおけるサンゴ移植活動の非成功例から学ぶこと
- ② I Wayan Patut (バリ・セランガン漁民グループ代表)：海中の保全活動によってセランガン島を取り戻す

— 休憩10分 —

移植片の種苗生産(1)(60分)

- ① 岡田 敏(沖電開発(株))：移植サンゴの種苗生産
- ② 比嘉義視(恩納村漁協)：サンゴの種苗生産・移植・モニタリング
- ③ 金城浩二(海の種)：サンゴの畑とサンゴの種苗生産

— 昼食50分 —

移植片の種苗生産(2)(60分)

- ④ 上原 直(グローイングコーラル)：市民ベースのサンゴ礁保全活動について
- ⑤ 下條 武(沖縄県水産課)：沖縄県漁業調整規則：サンゴの採捕と移植に関する解説
- ⑥ 西平守孝(海洋博研究センター)：自然への負荷の少ない移植片の準備

— 休憩10分 —

モニタリングと海洋保護区(60分)

- ⑦ 魚田夏紀(チーム美らサンゴ)：サンゴの移植—長期的取り組み
- ⑧ 藤原秀一・毛塚大輔(いであ)：着床具サンゴの移植とモニタリング
- ⑨ 鹿熊信一郎(沖縄県)：サンゴ礁海域における海洋保護区(MPA)

— 休憩10分 —

総合討論：40分

司 会：中野義勝(琉大・熱生圏・瀬底研究施設)

主催：海洋博記念公園管理財団 総合研究センター

共催：名城大学総合研究所

後援：沖縄県文化環境部・沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・  
日本サンゴ礁学会サンゴ礁保全委員会

●参加申し込みとお問い合わせは下記まで：

海洋博覧会記念公園管理財団総合研究センター普及開発課 担当：篠原礼乃・高 英昭

電話：0980-48-2266（午前9時～午後5時） ファクス：0980-48-2200

E-メール：oerc@kaiyohaku.or.jp（メールの件名は サンゴシンポ とお書き下さい）